様式３(2015.06改)

作成日　平成29年3月21日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370700573
事業所名	グループホーム　まりん

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	中学生の職場体験を受け入れ、利用者と生徒との嬉しい交流の場を設けている。 地域の小学校の運動会に見学に出かけている。 町内会に加入し、利用者の状態を考慮し、可能な場合には敬老会に参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	民生委員、いきいき支援センター、地域ボランティア、元利用者家族、そして不定期ではあるが消防職員を交えて、意見を交換している。 運営推進会議の議題は防災、行事、外出、看取りと運営に則し提起している。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	手続き、相談、報告に行政を訪ね、協力関係を築いている。 いきいき支援センター主催の認知症カフェに利用者と参加している。 行政主導の認知症専門部会のメンバーとして、介護・医療両面の地域啓蒙に協力している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	利用者の暮らしの様子を伝える写真付きの便りに、利用者個別に家族宛の手紙を添えて報告している。 管理者は頻回に家族に電話にて連絡を行い、家族会や家族の訪問と合わせ、意見の収集に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	×	×			